学校番号	1004

令和８年度　情報

教科	情報	科目	(学)情報演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、実践・体験的な学習活動を通して、コンピュータやデータの活用について理解を深め技術を習得するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養うことを目指す

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関りについて理解を深めるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
様々な事象を情報とその結びつきとしてとらえ、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	データ活用の有用性を理解し、目的に応じた適切なデータの収集や整理、整形について理解し技能をみにつけること。	目的に応じて、適切なデータを収集し、整理し、整形すること。将来の現象を予測したり、複数の事象間の関連を明らかにするために適切なモデル化や処理、解釈・表現を行うこと。	情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養うこと。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	社会におけるデータ・AI利活用	社会で起きている変化 社会で活用されているデータ データ・AIの活用領域 データ・AIの利活用のための技術 データ・AI利活用の現場 データ・AI利活用の最新動向	a:データの種類や解析の手法について理解している。 b:様々なデータを活用して問題の解決をはかるイメージを創造できる。 c:データ・AI を活用して問題を解決しようとしている。	ワークシート	レポート	授業観察 レポート
2学期	データリテラシー	Excelの基本的な操作方法 時系列データの可視化 平均の算出とその可視化 標準偏差の算出とその可視化 大量のデータを扱う方法 基本統計量の算出と箱ひげ図 度数分布表とヒストグラムの作成 散布図の作成と相関係数の算出 定性データの扱い方とクロス集計	a:大量のデータを取得し適切な形に整形できる。 b:データを可視化し、適切に表現できる。 c:実習に主体的に参加し技術を習得している。	ワークシート	レポート 課題	授業観察 レポート
3学期	データ・AI利活用における留意事項	データ・AIを扱う上での留意事項 データを守る上での留意事項	a:データ・AI を扱う社会での問題点を理解している。 b:データを守るための技術を説明でできる。 c:情報社会への主体的にかかわっていこうという意識を持つことができているか。	ワークシート	レポート	授業観察 レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度